

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	福祉タクシー助成事業			事業コード	0371
担当課等	所属名	保健福祉部 障がい福祉課	担当係名		
	課長名	保健福祉部 障がい福祉課長 佐々木幸司	担当者名	高谷 悠	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	共に歩む障がい者福祉の実現	コード 3
	基本事業	障がい者福祉サービスの充実	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 3款 1項 2目 福祉タクシー助成事業(005-03)	
	特記事項					
事業期間	○ 単年度 ● 単年度繰返 ○ 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 S57年度～)		
事務事業の概要	外出が困難な在宅の重度障害者に対し、タクシー料金を助成することによって社会参加の促進を図る。					
根拠法令等	盛岡市福祉タクシー事業実施要綱					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
国際障害者年(昭和56年)を契機に昭和57年6月から実施。(盛岡市福祉タクシー実施要綱)						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
交付対象の拡大や交付枚数増の要望がある。 交付場所について、他の支所等でも手続きできるよう要望がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
平成22年9月6日付で要綱を改正し、券面額を520円から580円に変更した。 障害者手帳の交付増や障害の重度化により、交付件数(交付枚数)は増加の傾向にある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	①身体障害者手帳の交付を受けている方で、(1)肢体不自由者(児)1級及び下肢か体幹を含む2級、(2)視覚障害者(児)1級及び2級、(3)内部障害者(児)1級。 ②療育手帳の交付を受けている方。 ③精神保健福祉手帳1級の交付を受けている方。	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 交付対象者総数(交付制限対象者を含む)	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 申請に基づき窓口(障がい福祉課、都南総合支所、玉山総合事務所)にて当該年度分を一括して交付する。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 申請に基づき窓口(障がい福祉課、都南総合支所、玉山総合事務所)にて当該年度分を一括して交付する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 交付件数	単位	件
				B. 利用枚数	単位	枚
				C. 交付枚数	単位	枚
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	移動が困難な在宅重度障害者に対してタクシー助成による外出支援を行なうことにより、より一層の社会参加の促進を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 交付件数/交付対象者総数×100 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				B. 利用枚数/交付枚数×100 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	社会参加の促進が図られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	就労している障がい者割合(障がい者アンケート)(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	交付対象者総数(交付制限対象者を含む)	人	6404	6629	6862	6820	7017	7220	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	交付件数	件	2891	3075	3184	3291	3390	3488	年度
活動 指標B	利用枚数	枚	52391	52631	55521	96696	52619	54135	年度
活動 指標C	交付枚数	枚	65310	69074	72862	138200	75277	77446	年度
成果 指標A	交付件数/交付対象者総数×100	%	45.1	46.4	46.4	48.3	48.3	48.3	年度
成果 指標B	利用枚数/交付枚数×100	%	80.2	76.2	76.2	69.9	69.9	69.9	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	25,558	26,785	28,257	32,728	30,070	31,514	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	25,558	26,785	28,257	32,728	30,070	31,514	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	25,558	26,785	28,257	32,728	30,070	31,514	*****
	延べ業務時間数	時間	360	360	360	513	360	360	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,440	1,440	1,440	2,052	1,440	1,440	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	26,998	28,225	29,697	34,780	31,510	32,954	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 事業実施による外出時の移動支援は、安全且つ広範囲な社会参加を可能にし、又障害によって生じる負担軽減にもなっている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 外出支援は社会参加するにあたり不利に働くハンデを補うために有効な手段で、民間による割引等はまだ不十分であるから。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 外出支援が必要な重度障害者に対して発行している。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 社会参加のために外出支援が必要な重度障害者に対して発行している。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 限られた予算の中では、現状維持が限界である。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 外出支援が必要な重度障害者の外出手段が限定される。あるいは障害者の負担増を招き、社会参加の機会が失われる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 他都市と比較して低い水準の交付である。タクシー券の交付枚数又は額面金額の減少は障害者の負担増を招く。所得制限を行って全体の交付枚数を削減する手段があるが、障害者世帯においては所得が低い場合が多く、所得制限を行っても事業費の削減額は少ない。むしろ所得調査を行うことによる人件費及び郵送費等の増大が著しいものになると予想され、効率が悪化する。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現状で最低限の稼働である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	その内容: 所得制限を行って全体の公平性を確保する手段が考えられるが、障害者世帯においては所得が低い場合が多く、所得制限を行っても効果は少ない。むしろ所得調査を行うことによる人件費及び郵送費等の増大が著しいものになると予想され全体として大幅なコスト増となると考えられる。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	その内容: 当事業は公的扶助であり、利用者の費用負担の余地はない。一定の外出が困難な障害者に対して原則として均一の給付を行なっている。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること</p> <p>①他都市の事例を研究し、支給額の検討を継続する。 ②交付窓口の拡大、交付に係る人件費の削減など効率的な交付方法を検討する。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)</p> <p>②については、交付確認用端末の配置などコストの増大が懸念される。また、各支所において転入手続等により繁忙期を迎えた時期に、タクシー券の交付業務も集中することになるため、各支所における理解が必要となる。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>障がい者が日常生活を送るうえで、移動に対する支援への要望が高まっており、平成20年度から精神障がい者を対象として支給範囲を拡大している。予算に限りがあるため、回数の拡大は難しい状況である。</p>					
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>当面現制度で事業を継続する。</p>							